



地区社会教育・文化財・社会体育行政研修会

人権教育の充実

4月27日（金）にサン・フレッシュ枕崎で、地区内の各市教育委員会社会教育（生涯学習）・文化財・社会体育行政担当者並びに教育事務所職員等60名が参加して研修会が開催されました。

霧島市隼人人権啓発センター館長の鎌田孝子氏が、「人権・同和教育に関すること」という演題で講演され、行政担当者として、また、一人の人間としての在り方に大きな示唆を与えていただき、有意義な研修会となりました。



地区社会教育委員研修会

体験活動の充実

10月5日（金）に南九州市ひまわり館で地区内の各市社会教育委員や行政関係者48名が出席して、研修会が開催されました。

全体会では「南薩地区における青少年の体験活動等に関するアンケート調査結果」について南薩教育事務所から説明を行い、その後、各市で実施している特色ある体験活動の事例紹介がありました。

この後、4グループに分かれてアンケート調査結果や各市の体験活動の事例をもとに「子どもたちの体験活動を推進するために社会教育関係団体との連携・協力をどのように図っていけばよいか」というテーマで研究協議を行いました。どのグループも体験活動の重要性や今後の各市における取組の在り方等について活発な意見交換がなされました。



グループ協議の様子



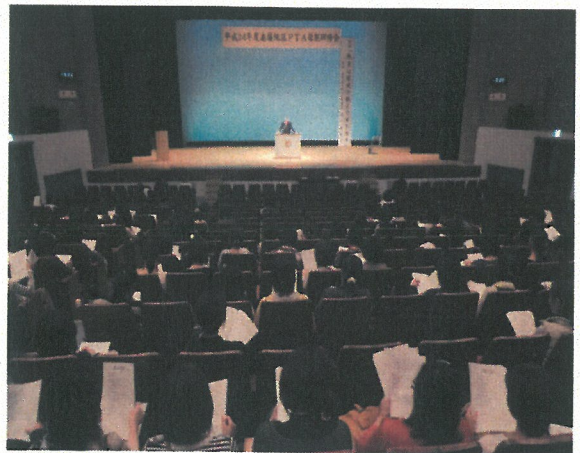
地区PTA母親研修会

家庭教育力の向上

10月25日(木)、枕崎市市民会館において、研修会が小・中学校、高校、特別支援学校から187名の母親等が参加して開催されました。

開会行事の後、「南薩地区における青少年の体験活動等に関するアンケート調査結果」について南薩教育事務所から説明を行いました。その後、32のグループに分かれて「家族の一員としての我が家の役割分担や我が家の自然体験活動の実践」というテーマで情報交換会を行い、参加者から各家庭で実践している具体的な事例等が出され有意義な情報交換会となりました。

講演は、鹿児島市鴨池公民館長の丸山屋敏氏が、「教育は家庭の教えで芽を出す」という演題で、長年の教職経験をもとに具体的な事例をあげてのお話をいただきました。さっそく明日からの家庭教育やPTA活動に役立つ内容であり、有意義な研修会になりました。



地区文化財保護審議会委員研修会

文化財の保存活用

6月6日(水)に南さつま市金峰文化センターにおいて、研修会が41名の参加者をもって開催されました。午前中は、「観光や地域おこしにつながる身近な文化財の活用」というテーマで事例発表と5グループに分かれてのグループ協議を行いました。どのグループも地域おこしや文化財の活用について活発な意見交換がなされました。

午後は、県教育庁文化財課から「本年度の文化財保護行政の重点施策」についての指導講話をいただき、その後、南さつま市金峰地区内の文化財について現地研修視察を行いました。地区内の文化財保護審議会委員にとって有意義な研修会となりました。

